

かほお 版

大分MSW広報誌
Vol. 33

<発行元>

大分県医療ソーシャルワーカー協会

平成23年8月30日 発行

「なでしこ」の衝撃

大分県医療ソーシャルワーカー協会 会長 野上 美智子

まずは、全国大会のご協力ありがとうございました。会員のみなさんのおかげで意義ある大会となりました。この大会を乗り越えたことによって我々の結束力が高まった気がしていますがいかがでしょうか。協会としては、全国の協会に大分県協会の実力を認めていただいたことや県知事をはじめ県の関係者が医療ソーシャルワーカーの役割を再認識していただいたことが成果となりました。

また、協会50周年の記念式典を行い、50周年記念誌を発行することができました。つくづく先輩方の功績による歴史の上に我々が存在することを実感しています。感謝しきりです。

さて、今年度は7月からの遅いスタートとなりました。次の50年へ向けての新しいスタートの年です。理事も4名の新任を迎えました。

今年度の大きな課題は、診療報酬・介護報酬同時改定です。ワーキングチームを結成しましたので、会員のみなさんへ随時情報提供を行っていきます。勤務する病院組織内で「うちのMSWに聞いてみよう。さすが詳しいよね。」とってもらえる存在になることをめざしましょう。

今期2年の執行部の課題はいくつかあります。現在当協会の会員数は200名ですが、まだ約50名のMSWが未会入です。全県下、MSWの医療圏域別の配置状況を把握し、是非入会をお誘いして組織の強化を図ること。そして、県民のみなさんに役に立つ活動を展開することが必要です。

また、社会福祉士会の専門社会福祉士や日本医療福祉協会の認定資格などの動向を鑑みながら、当協会の会員のみなさんが生涯にわたって研修計画を組み立てられるような、研修プログラム策定の準備に入る年になりそうです。

話は変わりますが、『なでしこジャパン』の話題の中、「撫子の花って知らないの？ ネット検索した」とドクターたちが話していました。「日本の花じゃあないですか、秋の七草を知らないのですか。」「ひまわりとチューリップは知っているけど、どこに咲いているの？ 食べられる草なの？」「うちの庭に咲いています。」「どうして野上さん知っているの？」「日本人の常識ですって。」と言う会話が飛び交いました。他のスタッフも知らない人のほうがほとんどで驚きの現象でした。撫子と女郎花と水引を医局に解説つきで飾りました。ただし、私は車の名前をちっとも知らないの、若い人には非常識と驚かれます。常識とは時代によって変化するとはいえ、衝撃です。

ジェネレーションギャップの中の支援は当然ですね。



平成23年度役員です。お願いします。

大成功にて幕を閉じる!!

3月の東日本大震災という未曾有の災害後ということもあり、開催すら再検討した全国大会が上記におきまして開催され、皆様の協力のおかげで成功を収めました。特に我々を前準備から大会当日、終了後まで引っ張ってくれたお2人にコメントをいただきました。

おおいた大会実行委員長 井元哲也

「貧困と家族—現代社会の貧困と向き合う—」をテーマに掲げ、約1年前より、協会内に実行委員会を立ち上げ準備を進めて参りました。

開催まで約2か月余りという時期の3月11日に東日本大震災発災。現地では津波により想像を絶する被害が発生しました。そのような状況の中、この時期に開催する意義として「全国のソーシャルワーカーの力を大分に結集し、我々ができる事を考える場とする」と位置付け、義援金募金は勿論、大分県協会で作成し、売上全てを寄付する等の企画を追加し、協会を上げて被災地支援に取り組みました。また大会終了後には、被災県協会宛てに大会誌を無料送付させて頂きました。

お蔭様で、台風の直撃を受けたにも関わらず大会二日間を通して総参加者数は700名を超え、大盛況の内に幕を閉じました。この場をお借りして、ご協力頂いた会員の皆様や暖かいご支援を頂きました協会の先輩方、関係機関の皆様へ厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



櫻井よし子氏

おおいた大会事務局長 高橋 勝

全国大会の準備に関わって下さった方、ご参加下さった方、皆さん本当にお疲れさまでした。中でも、大会終了後の残務処理にご協力頂いたデータ班の皆さん、事務局員の皆さんにこの場をお借りしてお礼を言わせて頂きます。ありがとうございました。お陰様で7月21日に日本医療社会福祉協会の事務局へ事業報告書を提出することができました。

本大会を実行するにあたり、大分県協会にとって最も収穫となったのは人材です。大分県協会の若手理事、これまで大分県協会の活動に参加する機会が無かった会員さんが、本大会の実行の中心であったと言っても過言ではありません。紛れも無くその方達が今回の経験を糧とし、今後の大分県協会の中核を担っていくことでしょう。

50周年の節目を迎えた我々大分県医療ソーシャルワーカー協会は、この大会を成功で終えることができたことを大きな自信とし、新しい一歩を踏み出して行きましょう。



鼎談



交流会

大分県医療ソーシャルワーカー協会 2011年度（平成23年度）定期総会

日時：2011年（平成23年）7月23日（土） 15時30分より

会場：大分センチュリーホテル 3F 桐の間（大分市府内町1-4-28）

上記におきまして定期総会が行われましたので報告いたします。総会成立定足数の確認があり、議長に小川英彦氏（黒木記念病院）が選出されました。議事に入る前に高橋前事務局長より、全国大会の収支報告も行われました。第1号議案から第5号議案までは承認を得ることができましたが、第6号議案の慶弔規程については、いったん取り下げて再度提案することとなりました。総会では活発な質問や意見をいただくことができました。ありがとうございました。

総会閉会後は大分MSW協会設立50周年記念祝賀会がとり行われました。



お知らせ

『リレー・フォー・ライフ大分2011』

日時：平成23年9月23日（金）13:00～

平成23年9月24日（土）13:00

場所：大分スポーツ公園 大芝生公園（昨年と同じ場所）

問い合わせ：農協共済別府リハビリテーションセンター 佐藤 藤井

TEL: 0977-67-1711 Email: y-fujii@brc.or.jp

今年も理学療法士会との合同で「チーム士（サムライ）」として参加します。みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。一緒に夜明けの瞬間を仲間と迎えてみませんか？ もちろん、短時間でも構いませんので、お気軽にご連絡ください。



理事会便り

理事会報告事項

- 2011.7.1 第1回 理事会 定期総会準備 : 新別府病院
7.23 定期総会・祝賀会 : 大分センチュリーホテル
8.3 三役会議 (会長・副会長・事務局長) : 臼杵市医師会立コスモス病院
8.23 RFL 団結式 (説明会) : 別府リハビリテーションセンター
8.25 第2回 理事会 : 別府リハビリテーションセンター

〈主な議題〉

- ・事務局報告 [新規入会会員 16名 退会者 4名]
- ・各部への小口資金について配布/役員および委員の協会活動の交通手段調査
- ・活動報告/議事録を事務局へ提出すること
- ・ワーキングチームについては人選を川野事務局長に委任
- ・研修部より/初任者研修及びスーパーバイザー研修の趣旨について
- ・ネットワーク推進部より/研修部初任者研修での交流会・MSW 配置状況調査・メールマガジン運用規定について
- ・その他報告事項
役員および委員の各所属機関への『委嘱状』について検討→発送予定
- ・備品購入に関して報告
[パソコン、ビデオカメラ、デジタルカメラ、プロジェクター、スキャナー]
※協会活動時に貸し出ししますので、事務局へご依頼ください

理事役動向

- 6.30 第1回保健医療団体協議会理事会 (野上会長・吉賀理事) : 作業療法士会館
8.3 大分県地域生活定着支援事業運営連絡協議会 (佐藤副会長) : 大分アイネス
8.9 第1回大分県脳卒中回復期・維持期等地域連携推進協議会 (野上会長) : 医師会館

<事務局より>

今年度より事務局長に就任した川野です。事務局の役割としては、『協会の経理』『他団体との窓口機能』『入退会を含む会員名簿の管理』『会員向けの各種資料送付』『総会等イベント準備』など多岐に及びます。

事務局として、なにかと至らない点も多いかと思いますが、会員の皆様のご理解とご協力をお願いできればと思います。よろしく申し上げます。

事務局

大分県臼杵市大字戸室長谷 1131 番地 1
(臼杵市医師会立コスモス病院
地域医療福祉連携室内)

TEL 0972-62-5883 FAX 0972-62-8404
URL:<http://oita-msw.com/index.html>
Mail:oita-msw@oita-msw.com

～SWのうまいもん・みたもんのコーナー～

ここでは地域のSWさんが地域ならではのオススメスポットを紹介するミニコーナーです。

第1回目は、津久見市より「つく実や」を紹介します。ロールケーキなどのスイーツやドレッシング、まぐるカツやぎよろっけなどの海のおかず&珍味まで、こだわりの一品を揃えています。もちろんネット注文も受け付けています。お店で食べるまぐるカレーも絶品でしたよ。さあ！実食！！